

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	健康診査事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	01 健康管理を充実し、病気の予防を図る
事業実施期間	昭和58年度 ～ 永年
事業区分	④義務的施策事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	健康増進法、がん対策基本法

【事業概要】

現状と課題	子宮・乳がん検診、肝炎ウイルス検診の無料クーポン対象年齢の縮小に伴い、受診数が減少した。一方、H24年度より歯周病検診個人負担金を無料化、H30年度より肝炎ウイルス検診の個別再勧奨、H31年度より特定年齢の人へ圧着ハガキによる個別勧奨を実施し、受診率が向上した。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	より多くの市民ががん検診等を受診することで、疾病の予防および早期発見、早期治療の推進を図る。
対象 ※誰、何に対して	18歳以上の市民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	がん検診等を実施し、ちらしの配布や広報等による周知を図るとともに、特定年齢の者等に検診無料クーポン券等を送付すること等で受診を促進する。

【コスト】

		令和元年度(決算見込)
事業費合計		125,223 千円
財源内訳	国庫支出金	1,851 千円
	県支出金	16,726 千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	106,646 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	02 予防費
細目	015 保健推進事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	117,714 千円	112,621 千円	125,223 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>法に基づく義務的事业。検診受診率の維持・向上のためには、対象者への個別勧奨や健診費用自己負担の無料化が有効であるが、健診委託料等のコストが必要となる。H26年度以降、がん健診事業等に対する国庫補助縮小に伴い、自己負担金が生じたこと等により、各がん検診の受診率は減少傾向にある。今後、受診率向上に向け、個別通知や再勧奨など効果的な普及啓発を行うことが必要である。</p>

加古川市事務事業評価シート（令和元年度実施事業）

事務事業名	健康診査事業	部局名	福祉部
		課（室）名	健康課

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
対象数（20歳以上の女性）	人	83,214	81,608	80,183
対象数（40歳以上の女性）	人	55,542	54,587	53,675

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
子宮がん検診受診者数	人	2,969	2,674	3,632
乳がん検診受診者数	人	3,382	2,922	3,552
活動指標分析結果	特定年齢の人に対し、受診を促すためのメッセージやデータを掲載した圧着ハガキを個別に送付したことにより、受診者数が増加したと考えられる。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
子宮がん検診受診率	%	6.8	6.9	7.9	令和4年度	25
乳がん検診受診率	%	12.5	11.5	12	令和4年度	25
成果指標分析結果	特定年齢の人に対し、圧着ハガキによる個別勧奨を実施し、若干受診率は向上したが、依然受診率は低い状況にある。受診率低下の要因については、検診受診率の計算方法変更に伴う対象者の変更及び無料クーポン券の対象者数減少、料金体制の見直しにより期待された若年層の受診者の伸び悩み等が考えられる。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	加古川総合保健センター管理負担事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	01 健康管理を充実し、病気の予防を図る
事業実施期間	昭和60年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	加古川総合保健センターは、平成27年1月にJR加古川駅北に移転しており、交通利便性が向上し、利用可能面積も広がった。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	JR加古川駅に近く、大人数の収容が可能な同一会場を確保することで、利用者の利便性を考慮しながら、計画的な健診等を実施する。
対象 ※誰、何に対して	加古川総合保健センター内のウェルネージホール等で実施する健診や相談、ふれあい教室等に参加する住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	加古川市が専用利用している加古川総合保健センター内のウェルネージホール等にかかる管理費用分等に対し負担金を支出する。

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	10,739 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	10,739 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	01 衛生総務費
細目	025 保健衛生事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	10,766 千円	10,649 千円	10,739 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	健康増進活動の充実を図るための拠点施設として活用していくことが必要であり、利用にあたり市として管理費用等を負担することは妥当であるため、継続して実施していくことが望ましいと考える。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	加古川総合保健センター管理負担事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
施設数	施設	1	1	1

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
加古川総合保健センター市利用部分負担金	千円	10,664	10,629	10,658
活動指標分析結果	駐車場使用料等の経費が増加したため、負担金はやや増額となった。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
加古川総合保健センター市利用部分使用日数	日	206	205	203	令和2年度	200
成果指標分析結果	平日の使用が大半で200日程度の利用を維持している。引き続き効率的な利用に取り組む必要がある。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	口腔衛生推進事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	01 健康管理を充実し、病気の予防を図る
事業実施期間	平成18年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	口腔に関する知識を深め、口や歯の健康と健全な健康づくりの充実を図るため、事業に要する費用の2分の1に対し、予算の範囲内で支援している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	口腔に関する知識を深め、口や歯の健康を守り、全身状態を良好に保つことで、健全な健康づくりの充実を図る。
対象 ※誰、何に対して	播磨歯科医師会が実施する歯科衛生診療等に参加する住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	播磨歯科医師会が実施する口から始まる健康づくり推進事業に要する費用の2分の1に対し、予算の範囲内で補助金を支出する。

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	5,000 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	5,000 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	01 衛生総務費
細目	025 保健衛生事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	5,000 千円	5,000 千円	5,000 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 口と歯の健康づくりの分野は、専門知識を持った歯科医師等の意見や援助が必要不可欠であるため、継続して事業を実施していくべきである。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	口腔衛生推進事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
加古川市人口（10／1付住民基本台帳人口）	人	267,255	265,897	264,508

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
地域歯科保健分野活動回数	回	24	22	18
学校歯科保健分野活動回数	回	9	9	9
活動指標分析結果	年間を通じて、月に2回程度の割合で活動を行なっている。なお、当年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため活動の一部を中止している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
イベント等参加者数	人	1,522	713	650	令和2年度	700
成果指標分析結果	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、講演会等を一部中止したことにより、当年度の参加者数は減少している。					

加古川市事務事業評価シート（令和元年度実施事業）

事務事業名	自殺予防事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	01 健康管理を充実し、病気の予防を図る
事業実施期間	平成22年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	自殺対策基本法、自殺総合対策大綱、兵庫県自殺対策計画、加古川市自殺対策計画

【事業概要】

現状と課題	自殺者数は、平成26年以降は40名前後で推移していたが、平成31年は46名となっている。また、平成31年は、70歳以上の高齢者の自殺者数の増加が著しい。（*自殺者数は厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」より抜粋。）
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	自殺者数の減少を目指す。
対象 ※誰、何に対して	加古川市内に在住している市民及び、関係機関。（学校、相談機関を含む。）
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	1) ゲートキーパー養成研修を開催。2) 自殺予防に関する健康教育・普及啓発を実施。3) 「死亡小票」による分析を行い、自殺に関する加古川市の現状を把握。4) 加古川市自殺対策推進本部会議及び連絡会議等にて、情報共有・交換。5) こころの健康相談・支援の実施。

【コスト】

		令和元年度（決算見込）
事業費合計		1,543 千円
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	933 千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	610 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	03 民生費
項	01 社会福祉費
目	01 社会福祉総務費
細目	065 自殺予防事業

【コスト推移】

	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	令和元年度（決算見込）
事業費合計	531 千円	3,890 千円	1,543 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	全国的には自殺による死亡者が減少している。加古川市においては、平成26年以降、横ばい状態が続いているが、平成31年の自殺率は全国・県と比較して高く、引き続き対応が必要である。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	自殺予防事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
加古川市人口(10/1付住民基本台帳人口)	人	267,724	265,897	264,847

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
ゲートキーパー養成研修参加人数	人	406	638	1,469
自殺予防に関する健康教育参加人数	人	1,004	803	0
普及啓発媒体の配布	部	0	0	12,790
活動指標分析結果	指標1については、計画策定後、ゲートキーパー養成研修を拡充したため養成人数が倍以上となった。指標3は、相談先周知の強化のため、令和元年度より相談先カードや啓発ちらしの配布を新たに取り組み、今後も年1万部以上の配布を維持していく。指標2については、令和元年度よりゲートキーパー養成や普及啓発などの取組を中心として実施するため指標より削除する。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
自殺率(人口10万人対)	人	17.5	19.8	0	令和5年度	14.8
成果指標分析結果	自殺率は、平成24年は21.2、平成25年は25.4であったが、平成26年は15.5と大きく減少した。その後、平成28年までは、全国・県と比べ低い指標を示していたが、平成29年には17.5、平成30年は19.8、平成31年は17.3と、全国・県を上回っており、自殺対策は喫緊の課題であると考え。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	地域保健医療情報システム事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	01 健康管理を充実し、病気の予防を図る
事業実施期間	平成1年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	当初は健康管理のみを中心に運用を開始したが、機能を充実させてきた結果、現在、成人保健システムや感染症情報提供システム、介護保険の認定審査で利用する主治医意見書システム等、複合的な機能を備えたシステムとなっている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	地域住民が安心して健康で豊かな生活を送ることができるよう、地域医療環境を支援するシステムの基盤整備を行う。
対象 ※誰、何に対して	地域保健医療情報システムに蓄積された健康及び医療データの閲覧等に同意した加古川市、稲美町及び播磨町の住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	同意書やカインドカードの配布回収業務や、新規参画医療機関の確保、各種システムの改良及び保守業務等に加え、健診データも活用する必要性があることから、加古川総合保健センターに委託し実施している。

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	74,790 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	74,790 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	01 衛生総務費
細目	030 地域保健医療情報システム事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	74,233 千円	74,104 千円	74,790 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	医師不足や少子高齢化社会の進行に伴い、地域医療の充実が求められる中、地域医療情報システムのより良い運用について、加古川総合保健センター等関係機関との調整が必要である。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	地域保健医療情報システム事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【対象】

対象指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
地域保健医療情報システム登録者数	人	157,442	161,534	153,290
加古川地域医療機関	件	203	203	200

【事業実績】

活動指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
地域保健医療情報システムのデータ閲覧に同意した加古川市、稲美町及び播磨町の住民	人	58,441	59,849	53,078
地域保健医療情報システムに参画している加古川地域医療機関	件	131	133	130
活動指標分析結果	システムのデータ閲覧に同意した人数は大幅に減少したが、これは当年度初めに直近5年間の死亡・転出者(7,662人)を消したることによる(実質891人増加)。また、参画していた3医療機関が閉院している。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目標値
地域保健医療情報システム同意率	%	37	37	35	令和4年度	50
地域保健医療情報システム参画医療機関率	%	65	66	65	令和4年度	80
成果指標分析結果	同意率は40%弱、参画医療機関率は70%弱に留まっており、更なる向上を図る必要がある。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	旧看護専門学校解体撤去事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	01 健康管理を充実し、病気の予防を図る
事業実施期間	令和元年度 ~ 令和元年度
事業区分	⑥市施策事業(臨時)
地区別	加古川地区
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	建物は建築後40年(S51竣工)経過しており、耐震性及び維持コストなどの状況から解体撤去工事が必要である。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	未利用物件の解消及び未利用地の有効活用を図り、住民に衛生的で安全な環境を提供する。
対象 ※誰、何に対して	旧看護専門学校
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	旧看護専門学校の解体撤去工事及び跡地整備を行う。

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	1,739 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,739 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	01 衛生総務費
細目	055 旧看護専門学校解体撤去事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	0 千円	0 千円	1,739 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 完了
	今後は、普通財産を所管する管財契約課において、建物解体条件付土地売却を実施する予定である。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	旧看護専門学校解体撤去事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
施設数	施設	0	0	1

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
旧看護専門学校解体撤去事業費	千円	0	0	1,739
活動指標分析結果	旧看護専門学校の解体に係るアスベスト含有調査、PCB含有調査を実施した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
整備率	%	0	0	0	令和3年度	100
成果指標分析結果	当該年度は建物解体に係る調査を実施した。今後は、普通財産を所管する管財契約課において、建物解体条件付土地売却を実施する予定である。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	石綿ばく露者健康管理調査事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	01 健康管理を充実し、病気の予防を図る
事業実施期間	平成28年度 ～ 令和元年度
事業区分	⑥市施策事業(臨時)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	石綿による健康被害の救済に関する法律案に対する附帯決議(平成18年1月)

【事業概要】

現状と課題	兵庫県下では当市の他に、神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市が、全国では、埼玉県、神奈川県、岐阜県、大阪府、奈良県、福岡県、佐賀県が環境省から受託。ただし、環境省の調査期間が、R元年度までであり、調査事業参加者のフォロー体制の検討が必要。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	肺がん検診、胸部CT検査等を行い、保健指導を実施し、受診者の健康管理や不安の軽減に努める。さらに、受診が必要な者が早期に医療機関を受診できるよう支援する。
対象 ※誰、何に対して	石綿(アスベスト)による健康不安をかかえる40歳以上の市民のうち、本調査事業の対象者であり調査への協力に同意する者。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	対象者の把握が困難なため、チラシ等の配布により、事業の周知に努める。

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	1,117千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	1,053千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	64千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	02 予防費
細目	015 保健推進事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	1,376千円	1,359千円	1,117千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 完了
	環境省からの受託事業はR元年度で終了となる。R2年度より、環境省が行う石綿読影精度調査事業への参画については、従来より実施しているアスベスト健康管理支援事業も含め検討していく必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	石綿ばく露者健康管理調査事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
対象者数（40歳以上の市民）	人	158,134	159,153	160,128

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
チラシ配布枚数	枚	101,151	75,159	169,680
周知回数	回	7	16	11
活動指標分析結果	事業の周知のために、健診ガイドの各戸配布、市広報掲載、市ホームページ掲載、各事業でのチラシ配布などを行った。石綿ばく露者健康管理調査事業はR元年度をもって終了となる。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
石綿ばく露者健康管理調査事業受診者	人	18	19	17	令和元年度	50
成果指標分析結果	チラシ等の配布に加えて、健診申し込み時での周知を行った結果、H28年度は58名が受診したが、H29年度以降20名前後で横ばい状態である。石綿ばく露者健康管理調査事業は、R元年度をもって終了となる。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	健康づくり支援事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	01 健康管理を充実し、病気の予防を図る
事業実施期間	平成26年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	健康増進法

【事業概要】

現状と課題	第2次健康増進計画の基本目標である「健康寿命の延伸」を達成するためには、バランスのよい食事、適度な運動、禁煙などのよりよい生活習慣の実践による生活習慣病の発症予防や重症化予防への取組が重要である。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	『ウェルネスプランかこがわー第2次健康増進計画・第2次食育推進計画ー』に基づき、市民の主体的な健康づくりへの取組を支援し、生活習慣病の予防及び心身機能の維持向上を図ることを目的とする。
対象 ※誰、何に対して	加古川市民300人(かこがわ健康ウォーキング事業と「ウェルネス健康チャレンジ」として、合同開催とし、重複参加も可能とする。)
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	広報・ホームページ・町内会回覧及び公民館等にちらしを設置し、参加希望者を募集。参加者自身が健康づくりの目標を設定し、5か月間健康づくりに取り組む。その間、健康情報の提供や健康に関する教室等の実施により目標達成を支援する。また、インセンティブとしてウェルビーポイント(1人50ポイント)の付与及び健康グッズ等を送付する。

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	285千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	285千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	02 予防費
細目	015 保健推進事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	278千円	404千円	285千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了		
	「ウェルネスプランかこがわ(第2次健康増進計画・第2次食育推進計画)」を推進するためには、市民の主体的な健康づくりへの取組みを支援するしくみを継続して実施する必要がある。		

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	健康づくり支援事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
加古川市人口（4／1付住民基本台帳人口）	人	267,724	266,154	264,847

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
健康情報の提供回数	回	3	3	3
健康に関する教室の実施回数	回	3	3	4
活動指標分析結果	平成26年度から実施。事業実施期間である5か月間に、事業参加者に対して「健康だより」を3回送付し健康情報の提供及び、健康教室を4回（栄養教室1回、運動に関するイベント3回）開催し、目標達成への意識を高めた。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
事業参加者数	人	296	311	216	令和2年度	300
目標・取組み達成者率	%	57.8	60.1	63.8	令和2年度	70
成果指標分析結果	事業参加者は216人であった。平成31年度より、かがわ健康ウォーキング事業（参加者数124人）と同時に実施し、選択制とした。（重複参加可）目標達成者率は、63.8%であり、かがわ健康ウォーキング事業参加者の目標達成者率よりも高かった。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	市民ヘルスケア補助事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	01 健康管理を充実し、病気の予防を図る
事業実施期間	平成19年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	住民の主体的な健康づくりや疾病の早期発見、早期治療の意識を促すため、健康や医療に関する幅広いテーマでの講演、講習等を行っており、事業に要する費用の2分の1に対し、予算の範囲内で支援している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	健康や医療に関する幅広いテーマでの講演、講習等を行うことで、住民の主体的な健康づくりや疾病の早期発見、早期治療の意識を促す。
対象 ※誰、何に対して	加古川医師会が実施する各種健康に関する講演会等に参加する住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	加古川医師会が実施する市民ヘルスケア支援事業に要する費用の2分の1に対し、予算の範囲内で補助金を支出する。

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	9,000 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	9,000 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	01 衛生総務費
細目	025 保健衛生事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	9,000 千円	9,000 千円	9,000 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	健康や医療に関連する分野は、専門知識を持った医師等の意見や援助が必要不可欠であるため、継続して事業を実施していくべきである。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	市民ヘルスケア補助事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
加古川市人口(10/1付住民基本台帳人口)	人	267,255	265,897	264,508

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
健康分野活動回数	回	108	76	70
医療分野活動回数	回	67	88	71
活動指標分析結果	活動分野の多寡はあるが、年間を通じて週に2回程度の割合で活動を行っている。なお、当年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため活動の一部を中止している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
イベント等参加者数	人	1,284	1,121	1,017	令和2年度	1,100
成果指標分析結果	新型コロナウイルス感染拡大の防止のため、講習会等を一部中止したことにより、当年度の参加者数は減少している。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	兵庫県健康大学加古川講座負担事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	01 健康管理を充実し、病気の予防を図る
事業実施期間	昭和50年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	行政の一部負担額を変更することなく、事業開始当初からこれまで、同様の支援を継続している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	健康づくりに関する知識を医師等の専門家から提供することで、より健康に対する意識の向上を図り、自主的な健康づくりを促す。
対象 ※誰、何に対して	健康に関する講座を希望する加古川市、稲美町及び播磨町の住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	兵庫県医師会が加古川医師会に委託している、健康に関する講座開設事業に対し、負担金を支出する。

【コスト】

		令和元年度(決算見込)
事業費合計		240 千円
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	240 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	01 衛生総務費
細目	025 保健衛生事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	240 千円	240 千円	240 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	兵庫県が実施主体である事業ではあるものの、住民の健康づくりのため、県とともに継続して支援を行っていくべきであると考えている。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	兵庫県健康大学加古川講座負担事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
健康に関する講座を希望する加古川市、稲美町及び播磨町の住民	人	99	97	102

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
健康大学開講回数	回	17	17	17
活動指標分析結果	概ね2ヶ月間での実施のため、上限に近い開催回数を維持している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
健康大学平均参加数	人	82	80	83	令和2年度	100
成果指標分析結果	平均参加数が80人以上で推移している。参加向上への取り組みを検討する必要がある。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	かこがわ健康ウォーキング事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	01 健康管理を充実し、病気の予防を図る
事業実施期間	令和元年度 ～ 永年
事業区分	⑥市施策事業(臨時)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	健康増進法

【事業概要】

現状と課題	平成26年度から健康づくり支援事業を実施してきたが、平成29年度の「ウェルネスプランかこがわ」の運動・身体活動の中間評価では、各年代において1,000歩不足していることを把握したため、ウォーキングを主とした運動の習慣化を目指して事業を開始した。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	ウェルビーポイントをインセンティブとし、ウォーキングを主とした運動を習慣化することを目的とする。また、歩数を客観的に把握するため、同一のアプリを活用するものとする。
対象 ※誰、何に対して	18歳以上の加古川市民のうち、日本ユニシス(株)が作成したアプリのインストールが可能なスマートフォンを所持していること等の要件を充たす300人。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	広報・ホームページ・町内会回覧及び公民館等にチラシを設置し、参加者を募集。平均歩数プラス1,000歩以上を1日の目標として設定し、21週にわたってウォーキングを実施。その間イベント開催や健康だよりを送付。1週間の歩数が1日の目標歩数×7日を超えていれば、1週間につきウェルビーポイントを50ポイント付与する。

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	367千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	367千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	02 予防費
細目	080 かこがわ健康ウォーキング事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	0千円	0千円	367千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>参加者の増加を目指して、対象者や周知方法の変更を検討する必要性がある。アプリの利用については利便性が高いが、一方でアプリの操作等が苦手な方や、機種によっては対応できない等の課題がある。また、日本ユニシス(株)との共同研究事業として、無料でアプリが利用できるのは令和2年度までであるため、他の媒体や事業実施方法についても検討を要する。</p>

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	かこがわ健康ウォーキング事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
加古川市18歳以上人口(4/1付住民基本台帳人口)	人	0	0	222,398

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
健康情報の提供回数	回	0	0	2
健康に関する教室の実施回数	回	0	0	3
活動指標分析結果	令和元年度から実施。事業実施期間である5か月間に、事業参加者に対して「健康だより」を2回送付し健康情報の提供及び、健康に関する教室を3回開催し、目標達成への意識を高めた。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
事業参加者数	人	0	0	124	令和2年度	300
目標・取組み達成者率	%	0	0	45.5	令和2年度	70
成果指標分析結果	事業参加者は124人で、毎週の目標達成率の平均値は45.5%であった。					